

平成30年度 自己評価表の公表 ここわ

		チェック項目	取組状況・改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切ではあるが利用人数や活動量によっては狭いと感じることがある。
	2	指導員の配置数は適切であるか	配置基準は満たしているが曜日によっては支援の必要性の高い子供も多く利用する日は個別対応において不足感を感じることもある。さらにきめ細かな配置計画が必要である。
	3	常時見守り等が必要な子どもが利用する場合には通常より多い指導員配置がなされているか	指導員は限られているため見守りを疎かにならないような活動や安全面を考慮した活動計画を検討している。
	4	指導訓練室内は個々の子どもの状態に配慮した環境整備が行われているか	その都度できる限りの配慮は行っているが、利用者の組み合わせにより不十分な日がある。他害、多動、奇声などの障害特性がある子どもの利用時は個室やカーテンで区切ったスペースを活用し配慮している。
	5	事業所内の安全対策及び衛生管理は適切になされているか	事業所内で安全・衛生マニュアルを作成しておりそれに沿った手順で実施している。
業務改善	6	業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	業務改善を進めるためマニュアルの作成を行い広く職員が参加できるように検討していく。
	7	保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者のご意見を参考にして改善していきたいと思えます。
	8	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	今年度より公開します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今回のご意見を参考に工夫、改善を行っていく。
	10	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	スキル向上のため強化実施中です。研修は必ず1回/年必ず参加してもらいます。今年度はスタッフ全員参加しました。
	11	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	定期的実施している。(モニタリングやカンファレンスなどで実施)
	12	子どもの状態と支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	統一したアセスメントツールはあるが進捗を把握するツールとしての機能は果たせていないと思われる。今後は進捗把握という視点をもってようしていく。
	13	活動プログラムの立案を必要に応じてチームもしくは複数名の職員で行っているか	定期的に行っている。(個別性を考慮しながら)
	14	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫しているか	季節、地域行事を取り入れた楽しい活動を計画し行っている。

適切な支援の提供	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	組み合わせようと計画はしているが個々の支援が高いため、個別活動になりがちである。見守りに指導員がとられ日常の集団活動まで支援が回っていない現状のため出来る方法を計画しスタッフに周知する。
	16	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認しているか	打合せに出席できない職員のためにノートを作成し情報の共有を図っている。
	17	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	打合せに出席できない職員のためにノートを作成し情報の共有を図っている。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	実施している。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6か月に1回は実施している。
	20	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	厚労省のガイドラインを指針として活動計画を作成している
	関係機関や保護者との連携	21	相談支援事業所の担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しい者が参画しているか
22		学校との情報共有(行事予定、下校時刻)連絡調整(送迎時の対等等)を適切に行っているか	児童の送迎時に先生方と情報共有を行っている。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保育園や幼稚園の情報共有はできていない為、今後の課題とする。
24		学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	提供している。
25		専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	利用者によっては必要な助言を受けている。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	これから実施予定。児童クラブの先生方と話をつめている。
27		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	送迎時や連絡帳にて保護者の方と話し合い共通理解を持つようになっている。
28		保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	積極的に保護者の対応力向上を図る目的では支援していない。今後は利用者ごとに何を助言すべきか検討し、保護者へ支援していけるようスキルの向上を目指していく。
29		保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか	進んで情報提供しているわけではない為、県や市からの保護者向けの情報案内があれば提供していく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に利用契約、運営規程、支援の指針と具体的内容の利用者負担額、利用方法を丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	ご相談頂ければ真摯に対応している。内容はスタッフに周知し共有する。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	その都度対応している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その都度苦情対応にあたっている。
	34	個人情報に十分注意しているか	個人情報が記載されている文書は鍵付きロッカーで保管しそれらの文書の破棄にはシュレッダーを使用し個人情報の取り扱いには注意している。最善を尽くしている。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	受け身になっている。積極的に相互のコミュニケーションをとるべく配慮や環境づくりをしていきたい。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	事業所内でのマニュアルはできているが今年度、作成中のため早急に周知予定です。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回行っている。出席できなかった利用者にはついては説明等行い伝達している。
	38	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	積極的に研修に参加しています。今年度も参加してきました。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	身体拘束の必要性が低い利用者ばかりで事業所内で議論する必要性が乏しいのが現状である。
	40	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	今後検討していきます。
41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事業所内での共有ができているが、各事業所での共有はできていない。今後は合同カンファレンスなどで報告する。	